

平成28年第3回(9月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問項目	質問項目
1 (12番) 中山 雄夫	1 防犯カメラの増設について	(1) 防犯カメラの増設を小中高校通学路等を中心に検討の必要性について
		(2) 防犯・減災上、街を明るく防犯灯のLED化の促進の必要性について
	2 保育士確保のための貸付制度の利用促進について	(1) 福岡県が運用の、「保育補助者」の雇用費の貸付制度の活用について、市の見解をお伺いしたい。
		(2) 福岡県が運用の、「潜在保育士」の就職支援資金の貸付制度の活用について、市の見解をお伺いしたい。
2 (11番) 平嶋 正一	1 障害者福祉の充実について	(1) 市内に設置されている障害者施設の現状について
		(2) 神奈川県的事件を受けた本市の対応について
		(3) 障害者等の自立と社会参加に向けた本市の取り組みについて
	2 交通手段の充実について	(1) ちくしのバスみかさ線で日祭日にバスが運行されていない現状を市はどのように認識しているか
		(2) 日祭日の運行について
		(3) カミーリヤバスを本道寺まで運行できないか
		(4) 西鉄バスとカミーリヤバスの乗り継ぎ方法は、交通手段としてどのように評価するか
		(5) コミュニティバスの運行はどのように考えているか
		(6) 市が車を購入し、運行管理について手をあげたコミュニティ運営協議会等に車を貸与する方法は考えられないか
		(7) 地域公共交通会議における西鉄との協議はどのような状態か
		(8) 地域公共交通網の見直しの現状はどうなっているか
(9) 新市庁舎の完成を考慮すると、29年度中に結論を出すべきではないか		
3 (9番) 西村 和子	1 筑紫野市の観光振興について	(1) 観光資源の活用について
		(2) 観光振興に関する市民委員会の設置について
		(3) 観光に関する情報発信について
	2 職員の施策提案、実施のための能力向上について	(1) 現在行われている職員の専門的な能力向上のための研修と視察について
		(2) 専門的能力向上のための研修と視察の積極的実施について
4 (10番) 阿部 靖男	1 障がい者問題について	(1) 障害者施設殺傷事件についての見解
		(2) 障害者差別解消法の職員への周知について

平成28年第3回(9月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問項目	質問項目
		(3) 合理的配慮の取り組みと進捗状況について
5 (6番) 原口 政信	1 山家地区の産業廃棄物処理場について	(1) 山家一区産業廃棄物汚泥処理場の現状について
		(2) 山家一区産業廃棄物汚泥処理場、今後の県に対する対応について
6 (7番) 宮崎 吉弘	1 都市農業について	(1) 筑紫野市の市街化区域に位置する農業は、現在どのように営農されているか。
		(2) 今回の基本計画の策定を受け、どのように取り組まれるのか。
		(3) 筑紫野市の今後の農業振興への課題と取り組みは。
7 (1番) 古賀 新悟	1 介護保険制度の充実について	(1) 補足給付の段階が変更になる本市の対象者数と最小増額・最高増額の実態は、どうなっているか。
		(2) 要支援1、2の訪問・通所介護は「保険給付外し」となるが、本市は何人の利用者が対象となるのか。
		(3) 本市は、「介護予防・日常生活支援総合事業ガイドライン」に基づいた事業をどう受け止めているのか。
		(4) 総合事業への移行と地域包括ケアシステムとの関連付けは、どう考えているのか。
		(5) 総合事業への移行後も現行の介護報酬単価を引き下げないようにすべき。
	2 地域経済と雇用について	(1) 中小零細企業を応援し、雇用を促進する事業について具体的な計画をたっているのか。
		(2) 地元業者応援の店舗版リフォーム助成も設けるべきではないか。
8 (2番) 城間 広子	1 学校現場の「教員不足」解消を	(1) 小中学校の教員定数及び正規教員、常勤講師の人数は。非常勤講師の人数、任務は。
		(2) 産休、育休、病休、出張などの代替教員の確保が困難と聞く。学校現場ではどのような対応をしているのか。
		(3) 代替制度がない常勤講師が担任を受け持っているクラスは何クラスか。担任不在はどう対応するのか。
		(4) 「教員不足」の状況を教育委員会はどのように考えているのか。
	2 学校のアナログテレビを液晶テレビに切り替えを	(1) 小中学校の8割がアナログテレビ。子どもの学習環境を整えるため、早急に液晶テレビに切り替えるべきでは。
	3 国民健康保険税の徴収、滞納処分(差し押さえ)について	(1) 国保滞納世帯数、滞納金額を問う。差し押さえ件数、金額、差し押さえ率を問う。
		(2) 国保税の夜間受付、滞納世帯への夜間訪問について。課税担当部署との連携は。
		(3) 市民負担軽減のため、納期の回数を現在の9期から増やすべきではないか。

平成28年第3回(9月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問項目	質問項目
		(4) 国保の担当部署と連携し、収納をすすめるため、国保の滞納状況が把握できる滞納整理サブシステムの導入を。
9(17番) 辻本 美恵子	1 原子力災害への備えについて	(1) 前回、安定ヨウ素剤の備蓄、配布についてお尋ねしてから、どのような経過であったのか。
		(2) 国の原子力災害対策指針では、安定ヨウ素剤の服用についてどのように示されているか。
		(3) 福島原発事故において、放射能に汚染された大気の広がりほどの程度であったと認識しているか。
		(4) 安定ヨウ素剤の備蓄または配布を検討してはどうか。
	2 男女平等教育について	(1) 筑紫野市の学校教育における男女平等教育の位置づけは、どうなっているか。
		(2) 筑紫野市の学校教育における男女平等教育は、どのようにすすめられているか。
		(3) 男女平等教育の課題を、どのようにとらえているのか。
	3 障がい者差別について	(1) 自治体として、相模原殺傷事件をどの様にとらえているか。
		(2) 障がいのある人への差別がなくなるよう、市民に対しどのような取り組みをしているのか。
		(3) 障がいを理由とする差別の解消を推進するため、行政として、どのような取り組みをしているのか。
	4 健康なまちづくりのために	(1) 健康寿命を延伸するために、どのような政策に取り組まれているか。
		(2) スマート・ウェルネス・シティという言葉を知っているか。
(3) 人口が減少し、高齢者が増える今後の社会に必要な政策はどのようなものがあると考えているか。		
10 (15番) 田中 允	1 地域包括支援センターとコミュニティ運営協議会の連携について	(1) 支援センターの現状について
		(2) 支援センターをコミュニティ運営協議会単位（7箇所）に設置し地域との連携を図るべきでは
	2 2016全国学力テストの結果について	(1) 成果と今後の課題解決について
	3 選挙と市選挙管理委員会について	(1) 今回の参議院選挙から投票権が18歳以上に引き下げられたが20歳未満～18歳以上の投票率の結果は
		(2) 投票所の設置場所の見直しについて（例えばイオンモール筑紫野とか）
		(3) 選挙ポスターの掲示版の設置箇所について
		(4) 選挙管理委員会委員に弁護士（専門職）を加えては
11(18番) 上村 和男	1 地方創生について	(1) 政府の地方創生に基づく取り組みの現状について
		(2) 第五次筑紫野市総合計画がめざすまちづくりについて
		(3) まちづくりの知恵も力も市民の中に…
	2 林業活性化について	(1) 筑紫野市の林業の現状について
		(2) 森林資源を生かした地域活性化について
		(3) 施策の具体策、展開について